



第68回 美術史学会全国大会

会期 平成27年 5月22日(金)～24日(日)
会場 岡山大学岡山大学 津島キャンパス

プログラム

5月22日(金) (受付:五十周年記念館 受付開始:9:00)

研究発表 (午前 10:00-12:00、会場:五十周年記念館 金光ホール)

10:00-10:40	黒田清輝「野辺」に託された真意	清水 友美(成城大学)	要旨
10:40-11:20	戦時下における「前衛絵画」の展開 —美術文化協会、吉井忠を中心に—	弘中 智子(板橋区立美術館)	要旨
11:20-12:00	高松次郎評価の変遷 —戦後日本美術批評の推移とともに—	岩見 亮(慶應義塾大学)	要旨

研究発表 (午後 13:15-16:05) 会場:五十周年記念館 金光ホール

13:15-13:55	1910年日英博覧会における美術出品 —国宝の出品と『特別保護建造物及国宝帖』をめぐる—	林 みちこ(筑波大学)	要旨
13:55-14:35	オットー・ガイヤーによるベルリン旧ナショナルギャラリーのフリーズに関する考察	三井 麻央(岡山大学)	要旨
(休憩10分)			
14:45-15:25	ジャクソン・ポロックの作品の「装飾性」 —20世紀美術史への新たな位置づけ—	笈 菜奈子(京都大学)	要旨
15:25-16:05	カラーフィールド絵画の受容における大衆文化の意義	加治屋 健司(京都市立芸術大学)	要旨

総会 (16:15 - 17:15) 会場:五十周年記念館 金光ホール

5月23日(土) (受付:五十周年記念館(第一分科会場)、9:15受付開始)

研究発表(午前 10:00-12:00)

第一分科会 会場:五十周年記念館 金光ホール

10:00-10:40	東大寺僧形八幡神坐像と重源上人坐像について —大勧進重源と別当弁暁の関係を手がかりに—	瀬谷 貴之(神奈川県立金沢文庫)	要旨
10:40-11:20	醍醐寺木造俱生神立像 —快慶作品の一例として—	久保田 綾(大正大学)	要旨
11:20-12:00	安倍文殊院騎獅文殊菩薩及脇侍像考	増田 政史(慶應義塾大学)	要旨

第二分科会 会場:文法経講義棟2階 20番講義室

10:00-10:40	ロイヤル・アカデミーにおける英国水彩画家の展示戦略 —「英国水彩画の父」ポール・サンドビーのメディウムの選択意図—	山口 美帆(慶應義塾大学)	要旨
10:40-11:20	シャルダン作《芸術のアトリビュート》(1765, ルーヴル美術館蔵)について	廣瀬 聡平(日本大学)	要旨
11:20-12:00	ドラクワ作《十字軍のコンスタンティノブル攻略》 —歴史的細部の再現と普遍性—	西嶋 亜美(尾道市立大学)	要旨

『美術史』論文賞表彰式 (13:30 - 13:50 会場:五十周年記念館 金光ホール(第一分科会場))

シンポジウム「造形と見えないもの —様式論のために イコノクラスムを超えて—」
(14:00-17:40 会場:五十周年記念館 金光ホール)

司会:鐸木 道剛(岡山大学)

14:00 - 14:10	趣旨説明、パネリスト・コメンテータ紹介		
14:10 - 14:40	Starry Night, v.2	辻 成史(大阪大学名誉教授)	

14:40 - 15:10	日本の仏像 —見えないものの様式化と境位—	金子 啓明(興福寺国宝館 長・東京国立博物館名誉館 員)
15:10 - 15:40	中国美術史における皇帝と士大夫の表象 —可視と不可視のはざまから—	塚本 麿充(東京大学)
(休憩15分)		
15:55 - 16:15	コメンテータ1	稲賀 繁美(国際日本文化研 究センター)
16:15 - 16:35	コメンテータ2	岡田 温司(京都大学)
16:40 - 17:40	ディスカッション	

懇親会 (18:30 - 20:30 会場:岡山全日空ホテル 19階スカイバンケット「宙」)

* シンポジウム終了後、岡山大学構内から懇親会場への送迎バスを運行いたします。)

5月24日(日) (5月24日(日) 受付:五十周年記念館(第一分科会場)、9:30受付開始)

研究発表(午前 10:00-12:00)

第一分科会 会場:五十周年記念館 金光ホール

10:00-10:40	薬師寺僧形八幡三神像の制作年について	近藤 将人(名古屋市)	要旨
10:40-11:20	京都国立博物館および常盤山文庫所蔵「柿本人麿像」の型とその制作背景	三浦 敬任(東北大学)	要旨
11:20-12:00	個人蔵《春日若宮祭礼図・鷹狩図屏風》の主題と典拠	水野 裕史(熊本大学)	要旨

第二分科会 会場:文法経講義棟2階 20番講義室

10:00-10:40	アントニウス会サンタントワーヌ修道院附属聖母聖堂聖三位一体脇礼拝堂の 考察	茅根 紀子(実践女子大学)	要旨
10:40-11:20	ロヒール・ファン・デル・ウェイデン作《コロンバ三連画》の制作事情 —ケルン商人のネットワークを手がかりに—	蛭川 順子(関西大学)	要旨
11:20-12:00	アルブレヒト・アルトドルファー《エジプト逃避途上の休息》の泉について	藪田 淳子(神戸大学)	要旨

研究発表(午後 13:30-17:45)

第一分科会 会場:五十周年記念館 金光ホール

13:30-14:10	長沢芦雪筆「西園雅集図」について —画題の文学的典拠との関係を中心に—	藤原 幹大(名古屋大学)	要旨
14:10 - 14:50	朝鮮通信使の交流と焼画	片山 真理子(京都工芸繊維 大学)	要旨
14:50 - 15:30	鯉絵と市川團十郎像 —災害と江戸出版界—	石隈 聡美(國學院大学)	要旨
(休憩15分)			
15:45 - 16:25	豊原国周の大首絵作品について	菅原 真弓(和歌山大学)	要旨
16:25 - 17:05	石井鶴三、2体の《島崎藤村先生木彫像》 —新発見の木片史料による制作過程の検証—	福江 良純(北海道教育大 学)	要旨
17:05 - 17:45	東野芳明のデュシャン／中原佑介のデュシャン	平芳 幸浩(京都工芸繊維大 学)	要旨

第二分科会 会場:文法経講義棟2階 20番講義室

13:30 - 14:10	ヤン・ホッサールの《ウエヌスとクピド》(ベルギー王立美術館蔵)をめぐる一考 察	篠崎 亮(東北大学)	要旨
14:10 - 14:50	子ハンス・ホルバイン作《ホワイトホール・パレスの壁画》におけるヘンリー八世 の足を広げて立つポーズに関する一考察	西 美弥子(国立新美術館)	要旨
14:50 - 15:30	1516-1534年のフィレンツェにおけるミケランジェロの群像表現 —《サムソンとペリシテ人》再評価—	新倉 慎右(慶應義塾大学)	要旨
(休憩15分)			
15:45 - 16:25	ジョルジョ・ヴァザーリと「画家の礼拝堂」 —彫像のまなざしと死者の記念—	古川 萌(京都大学)	要旨
16:25 - 17:05	カラッチ一族によるカーザ・サンピエーリ=タロンのフレスコ作品群 —その図像プログラムに関する一考察—	山本 樹(東京藝術大学)	要旨
17:05 - 17:45	アルカディアのピンダロス —ヴィットリオ・マリア・ビガリのポローニャ、ラヌツィ館ギャラリー天井画にお けるピエル・ヤコボ・マルテッロの詩的創意—	高橋 健一(和歌山大学)	要旨

(2015/5/18 大会回数訂正)